

## 2004年度日本数学会賞建部賢弘賞受賞者の横顔

2004年度の日本数学会賞建部賢弘賞の授賞式は、2004年度秋季総合分科会の際の9月20日(月)14時35分より、北海道大学高等教育機能開発総合センター大講堂にて行われました。

受賞者については、「数学通信」第9巻3号の会報115でお知らせいたしました。建部賢弘賞は1999年度より特別賞、奨励賞の2部門となりました。受賞者の方々の紹介は、今までと同様にご本人からプロフィールを数行書いて頂き、写真と共に掲載することになりました。(五十音順、敬称略、所属は受賞時点のものです。)

### 特別賞

荒川 知幸 (名大多元数理, COE)

業績の題目: Frenkel-Kac-Wakimoto 予想の解決

Vertex (super) algebra, 特に  $W$  代数の表現論とその応用を研究しています。  $W$  代数は一見複雑に見えますが、その表現論はとても美しく、そして豊かな構造を持っています。このような研究対象に巡り会えたことを感謝しています。

石田 政司 (上智大理工, 助手)

業績の題目: 安定ホモトピー Seiberg-Witten 不変量の4次元多様体の幾何への応用

4次元多様体の幾何, 特にゲージ理論的, 微分幾何的な視点から研究を続けてきました。これからは4次元に限らず高次元, さらに代数幾何的な手法をも取り入れて研究を発展させたいと夢見て現在奮闘中です。まだまだ道は険しいですが, 今回の受賞を励みに頑張ります。有難うございました。

谷内 靖 (信州大理, 助手)

業績の題目: 流体力学の基礎方程式の解析

非圧縮性流体の方程式について研究しています。最近は大関数論を応用して, 流体方程式の解の挙動を調べることに興味があります。

これまでご指導してくださいました多くの方々に心より感謝いたします。

## 奨励賞

黒田 茂（京大数理研，学振PD）

業績の題目：不変式環の組合せ論的研究

「多項式環とは何か」という事に関心があり，ここ数年はヒルベルトの第14問題に取り組んでいます．多項式環の周辺には奥深い難問が沢山あり，いずれ挑戦したいと考えています．お世話になった方々の恩に報いられるように，今後も精進して参ります．

砂川 秀明（筑波大数理物質，助手）

業績の題目：非線型 Klein-Gordon 方程式系の解の漸近挙動の研究

ある先生の薦めで非線型双曲型方程式に関するヘルマンダーの講義録を読み，この分野に興味を持ちました．多くの方々に助けられて今まで研究を続けることができました．この場を借りてお礼申し上げます．

高橋 亮（岡山大理，学振PD）

業績の題目：Cohen-Macaulay 環のホモロジー代数的研究

種々のホモロジー次元を用いて Cohen-Macaulay 環の特徴づけを行ってきました．最近 Gorenstein 次元が有限な加群を重点的に研究しています．今までお世話になった方々，特に吉野雄二先生に心から感謝いたします．

中村 拓司（阪市大数学研，COE）

業績の題目：正結び目の性質と結び目の標準的曲面の研究

紐を結んだり解いたり…．特に正なる結び方に興味があります．関西に来て早7年，こちらには素晴らしい言葉があります．「小さなことからコツコツと！」これまでの皆様のご指導に感謝し，さらに目をカッと見開き精進したいと思います．

古庄 英和（名大多元数理，助手）

業績の題目： $p$ 進多重ゼータ値の研究

受賞できたことをとても喜ばしく思います．

現在プリンストンで極寒&極田舎&極孤独の生活を送っております．

今年はとても暖冬らしいのですがやはり寒いです！！

保坂 哲也（宇都宮大教育，講師）

業績の題目：無限 Coxeter 群と  $CAT(0)$  空間の研究

無限 Coxeter 群と  $CAT(0)$  空間の代数的・幾何学的研究を主に行っています．様々な分野と関連があり興味は尽きません．いつもお世話になっている多くの方々に心より感謝いたします．